

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名 北海道

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	江別市立いずみ野小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	3	3	3	3	3	0	17	26
児童数	73	83	97	111	103	119	0	586	

研究の概要

1. 研究主題

夢を実現する授業の創造  
～算数科の少人数授業・習熟度別指導を通して～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・算数

- ・児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため
- ・実践研究の成果が表れやすく、学力向上に結びつく教科であるため
- ・学校として、該当教科に関する研究実績があるため

(2) 年次計画

平成14年度	<p>テーマ 「発展的な学習や補充的な学習など個に応じた指導のための教材開発」</p> <p>研究仮説 算数科において少人数授業・習熟度別指導を取り入れる中で、個に応じた教材の工夫や指導方法の改善を図ることにより、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学び考える力を育てることができる。</p> <p>研究の内容・方法 各学年が、通年、少人数授業・習熟度別指導に取り組む。 少人数授業・習熟度別指導について理論研修会を行い、指導力の向上と共通理解を図る。(個に応じた指導のための教材開発を中心に) 研究の中間まとめを行い、前期の成果と課題を明確にし、後期の研究の軌道修正を図る。 年度末に、研究の成果と課題をまとめ、次年度の研究に向けての素案をつくる。</p>
--------	---

平成15年度	<p>テーマ 「個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善」</p> <p>研究仮説 平成14年度と同じ</p> <p>研究の内容・方法 効果的な指導形態、指導内容、指導方法を工夫する。 評価規準に照らした児童観察記録表を作成する。 理解が不十分な児童に対する指導の手立てを所見として作成し、日常の授業実践に役立てる。</p>
--------	---

平成16年度	<p>テーマ 「児童の学力の評価を生かした指導の改善」</p> <p>研究仮説 平成14年度と同じ</p> <p>研究の内容・方法 テーマにそった内容及び前年度・前々年度のまとめとなる内容を研究する。 研究発表会を開催し、3カ年の研究の成果を広く公開する。</p>
--------	--

### (3) 研究推進体制

低学年（1・2年）、中学年（3・4年）、高学年（5・6年）の3ブロック体制で研究を推進する。  
少人数担当3名と研究部で授業実践の報告会を行い、共通理解と指導方法の統一を図るとともに、各ブロックの取組を全体の研修の場で交流する。  
フロンティアティーチャーは、研究推進や普及に努める。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

#### 1. 研究成果

算数科の授業において、単元や学習場面に応じた効果的な指導形態を工夫することができた。（習熟度別指導や単純分割少人数指導、部分少人数指導など）  
毎時間の学習活動において、評価規準と児童の観察を一体化した観察記録表を継続して作成し、指導の改善に生かすことができた。  
個に応じたきめの細かい指導により、児童の学習に対する姿勢が積極的になり、学力も向上してきた。

#### 2. 今後の課題

作成した評価規準の検証と、児童の学力の評価を授業にどう生かしていくかの研究をしていかなければならない。  
研究発表会に向け、今までの研究の総まとめを行い、少人数・習熟度別授業の有効性を広めていかなければならない。

学力等把握のための学校としての取組

児童の総体的な学力を把握し、今後の研究に役立てるために学力テストを実施した。（教研式学力テスト：5月8日）  
単元テストの平均点を記録化し、日常の授業実践に生かした。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

市内の初任者研修会にて授業を公開する。 6月17日、6月18日  
江別市教育委員学校視察にて授業を公開する。 7月11日  
管内の10年経験者研修会にて授業を公開する。 9月1日、9月8日  
江別市教育研究会算数部会にて授業を公開する。 9月11日  
管内の5年経験者研修会にて授業を公開する。 10月9日  
フロンティアティーチャーとして道北ブロック学力向上推進協議会研修会の講師となり、本校の研究の説明と成果の普及に努めた。 6月19日  
多数の学校訪問に対応し、研究の説明を行った。  
教育雑誌「教育展望（9月号）」に本校の研究の取組が掲載された。  
平成16年4月にホームページを開設する。  
平成16年11月12日に研究発表会を開催する。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】  15年度からの新規校  14年度からの継続校
- 【学校規模】  6学級以下  7～12学級  
 13～18学級  19～24学級  
 25学級以上
- 【指導体制】  少人数指導  T・Tによる指導  
 一部教科担任制  その他
- 【研究教科】  国語  社会  算数  理科  
 生活  音楽  図画工作  家庭  
 体育  その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】  有  無